中学１年　国語科　教材別テスト⑫　「少年の日の思い出」

「少年の日の思い出」（ヘルマン・ヘッセ）　／　漢字・語句・助詞と助動詞・読解

１年	組	番	氏名	

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」（Ｐ．１～Ｐ．５）までです。
- 大問四は、**教科書『国語１』（光村図書）の「少年の日の思い出」を開いて**解答しなさい。
- 解答は、解答用紙の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能　（５０点）

一　次の――線部について、①～⑩はその読みをひらがなに直し、⑪～⑳はひらがなを漢字に直して書きなさい。ただし、**送りがなが必要な場合（⑦⑧⑨⑩⑰⑱⑲）は、送りがなも必ず書くこと。**　１点×20＝20点

① 微妙な色のちがい。
② 熱狂的なファン。
③ 羽の斑点。
④ 大切な獲物。
⑤ 冷淡な態度をとる。
⑥ 誘惑に負ける。
⑦ 破れた網を繕う。
⑧ 通行を妨げる。
⑨ 友の才能を羨む。
⑩ 相手の気配を探る。
⑪ ちょうのひょうほんを作る。
⑫ どりょくを重ねる。
⑬ 深いいんしょうを受ける。
⑭ 新しいじっけんに成功する。
⑮ 作品をひはんする。
⑯ 試合の前にきんちょうする。
⑰ 宝物をぬすむ。
⑱ あやまちをゆるす。
⑲ 心からあやまる。
⑳ 深くこうかいする。

二　次の問いに答えなさい。　2点×7＝14点

(1)　「非の打ちどころがない」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　欠点がまったくなく、申し分がないこと。　イ　打たれても平気なほど強いこと。
ウ　どこを直せばよいか見当がつかないこと。　エ　人の失敗を決して責めないこと。

(2)　「息をのむ」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　走って息が切れること。　イ　おどろきや感動のあまり、はっと息を止めること。
ウ　こっそりとかくれていること。　エ　深く呼吸して心を落ち着けること。

(3)　「〜に目がない」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　見る力を失うこと。　イ　とても好きで、夢中になってしまうこと。
ウ　まったく興味がないこと。　エ　人の様子に気づかないこと。

(4)　「丹念」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　手早くすませること。　イ　心をこめて、細かいところまでていねいにすること。
ウ　ひとりで静かにすること。　エ　長い年月をかけること。

(5)　「賛成」の**対義語**を、漢字二字で書きなさい。

(6)　「模範」の**類義語**としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　手本　イ　模型　ウ　規則　エ　競争

(7)　「だまって、何も言わないでいる」という意味の慣用句を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　口をつぐむ　イ　口がうまい　ウ　口をはさむ　エ　口が軽い

三　次の問いに答えなさい（**助詞・助動詞のはたらき**）。　2点×8＝16点

A　(1)〜(4)の――線部の**助詞の種類**を、後の【語群Ⅰ】から選んで書きなさい。

(1)　ぼくは、大きなちょうをつかまえた。

(2)　大きな声で呼んだが、返事はなかった。

(3)　弟まで、ぼくの秘密を知っていた。

(4)　もう少しだけ見せてくれよ。

【語群Ⅰ】　副助詞　・　終助詞　・　格助詞　・　接続助詞

三　（つづき）

B　(5)～(8)の――線部の**助動詞の意味**を、後の【語群Ⅱ】から選んで書きなさい。

(5)　妹に、大事なノートを破られる。

(6)　少年のころのことが、ふと思い出される。

(7)　あしたは雪が降るらしい。

(8)　その子は、今にも泣き出しそうだ。

【語群Ⅱ】 希望　・　推定　・　断定　・　受け身　・　伝聞　・　様態　・　自発　・　可能

※【語群Ⅱ】には、使わない語もふくまれています。

思考・判断・表現　（５０点）

四　教科書『国語１』（光村図書）の「少年の日の思い出」を開いて、後の問いに答えなさい。　50点

（１）この作品の組み立てについて、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

ア　はじめから終わりまで、「私」が自分の体験を順に語っていく。

イ　二人の登場人物の会話だけで、最後まで物語が進んでいく。

ウ　はじめの場面（現在）のあとに、ある人物が自分の少年時代を語り出す、入れ子の形になっている。

エ　二人の少年の物語が、交互に並べられている。

（２）作品の後半の大部分を語っているのはだれか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 2点

ア「私」　イ「客」　ウ　エーミール　エ「僕」の母

（３）ちょう集めを始めたころの「僕」の気持ちについて、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

ア　まわりの友達に負けたくないという、競争心だけで集めていた。

イ　ちょうの美しさに心をうばわれ、ほかのことを忘れるほど夢中になっていた。

ウ　大人にほめられたくて、しかたなく集めていた。

エ　珍しいちょうを売って、お金にしようと考えていた。

四　（つづき）

（4）「僕」が、集めたちょうを妹たち以外には見せなかったのに、隣の少年にだけは見せようという気になったのはなぜか。**二十五字以上三十五字以内**で書きなさい。［6点］

（5）エーミールはどのような少年として描かれているか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［4点］

ア　勉強も遊びも苦手で、いつも「僕」に助けを求めてくる少年。

イ　何事もそつなくこなし、他人のものを冷ややかに見る少年。

ウ　明るくだれにでも好かれ、「僕」の一番の親友である少年。

エ　ちょうには関心がなく、「僕」とは口もきかない少年。

（6）「僕」がエーミールに対していだいていた気持ちについて、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［4点］

ア　みごとな収集をみとめて感心する気持ちと、ねたんで憎む気持ちが入りまじっていた。

イ　心から信頼していて、少しも悪い感情をもっていなかった。

ウ　まったく関心がなく、どうでもよい相手だと思っていた。

エ　こわくてたまらず、顔を合わせないようにしていた。

（7）クジャクヤママユを見つけてから持ち出すまでの「僕」の心の動きを、順に正しく並べたものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［4点］

ア　かわいそうに思う　→　あきらめようとする　→　思わず持ち出してしまう

イ　強く心をひかれる　→　どうしても自分のものにしたいという思いにかられる　→　思わず持ち出してしまう

ウ　こわくなる　→　エーミールを呼びに行こうとする　→　思わず持ち出してしまう

エ　腹が立つ　→　こわしてやろうと考える　→　思わず持ち出してしまう

（8）「僕」が、持ち出したちょうをもとの場所へもどそうとしたのはなぜか。「**〜ため。**」という形で、**二十五字以上三十五字以内**で書きなさい。［6点］

（9）エーミールが最後に「僕」に向けて言った言葉（「そうか、そうか」で始まる一文）は、「僕」を強く打ちのめした。それはなぜだと考えられるか。**二十五字以上三十五字以内**で書きなさい。［6点］

四　（つづき）

（10）「僕」の行いを知った母の対応について、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［2点］

ア　「僕」を強くしかりつけ、二度と家に入れなかった。

イ　「僕」をせめることよりも、自分であやまりに行かせることを選んだ。

ウ　母が代わりにあやまりに行き、「僕」を外に出さなかった。

エ　何も知らないふりをして、最後まで取り合わなかった。

（11）結末で、「僕」が自分の集めたちょうを一つ一つ指で押しつぶした行為には、どのような意味があると考えられるか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［4点］

ア　新しい収集を始めるために、古いものを整理しようとしたということ。

イ　エーミールへの怒りを、ちょうにぶつけてうさをはらしたということ。

ウ　一度こわしたものは二度ともどらないと知り、自分の情熱もろとも過去を自分の手で葬ったということ。

エ　母に言われたとおり、ちょう集めをやめる約束を果たしたということ。

（12）この作品の内容にあてはまるものを**全て**選び、記号で答えなさい。**【完答】**［4点］

ア　「僕」は、エーミールのちょうを持ち出したことを、自分から母に打ち明けた。

イ　持ち出したちょうは、「僕」のあわてた行動のために、羽がこわれてしまった。

ウ　エーミールは、「僕」を激しくどなりつけ、なぐりかかってきた。

エ　「僕」は、自分のちょうの収集をすべてさし出すと申し出た。

オ　エーミールは、「僕」のおわびの申し出を受け入れようとはしなかった。

解答用紙①　知識・技能

中学１年　国語科　教材別テスト⑫「少年の日の思い出」

１年	組	番	氏名	

知識・技能　小計

一　漢字 （１点×20）	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	
	⑰		⑱	
	⑲		⑳	

二　語句の知識 （２点×７）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)			

三　助詞・助動詞 （２点×８）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)		(8)	

※　三は、A（(1)～(4)）は助詞の種類、B（(5)～(8)）は助動詞の意味を書きます。「～助詞」「受け身」などの語で答えること。

解答用紙②　思考・判断・表現

中学１年　国語科　教材別テスト⑫「少年の日の思い出」

１年	組	番	氏名	

思考・判断・表現 小計	合計（100点満点）

四 「少年の日の思い出」の読解（50点）	(1)		(2)	
	(3)			
	(4)			
	(5)		(6)	
	(7)			
	(8)			
	(9)			
	(10)		(11)	
	(12)			

※　記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。（４）（８）（９）は**二十五字以上三十五字以内**です。（８）は「～ため。」の形で結びます。（12）は**完答**で、すべてそろって得点になります。